

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【舞鶴市立白糸中学校】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	舞鶴市立白糸中学校 全校生徒・教師 人数：500名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックの歴史や舞鶴ゆかりの選手について学び、東京オリンピック・パラリンピックに向けて興味関心を持つとともに、障害を持ちながらも世界で活躍されている方から直接話を伺うことで、クライミングというスポーツの楽しさや、壁を乗り越えた時の達成感を実感し、自分の人生について考えるきっかけにする。
5 取組内容	オリンピック・パラリンピックについての事前学習会・講演会 (1) 日時 平成30年11月30日（金） 13:30～15:20 (2) 講師 事前学習会：山崎 涼（本校保健体育科教諭） 講演会：小林幸一郎（フリークライマー） パラクライミング世界選手権3連覇 (3) 講演内容 ①視覚障害者になるまでの生い立ち ②クライミングとの出会い ③目の難病「網膜色素変性症」の告知 ④プチチャレンジできるまでの葛藤 ⑤障害者理解や自立支援の実現を目指して
	  

6主な成果	<p>(1) 舞鶴にゆかりのあるオリンピックの話や、パラリンピックのマークの由来、種目の特性などを知ること、東京オリンピック・パラリンピックを身近に感じるようになった。</p> <p>(2) 視覚障害がある方の話を直接伺うことで、その生活の大変さや当たり前前ができない葛藤を知ることができ、単にスポーツの話だけでなく、人権感覚を高めることにもつながった。</p> <p>(3) パラクライミングで世界選手権3連覇をされている一流の現役選手の話を知り、パラスポーツ全体に関心を持つと同時に、目標を達成するために、今自分たちのにとって必要なことは何なのかを考えるきっかけになった。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>(1) ここ数年オリンピックの話が中心だったので、パラリンピックで活躍されている方を講師に選定した。</p> <p>(2) 単純にスポーツに関心を持つことや、2020に向けた啓発の意味だけでなく、生きることの大切さを考える機会になるよう工夫した。</p>
8主な課題等	<p>単発的な取組で終わるのではなく、継続する中で2020年を見据えた計画の元実施していきたい。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>オリパラを通して何を伝えたいかを明確にする中で、事業の計画を早め、2020の視点だけでなく、生徒の生きる力につながるような取り組みにしていきたい。</p>